

令和5年9月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

伊豆東岸定置網における令和5年下半期の漁海況予測

当場では令和5年下半期（7～12月）の相模湾の海況及び伊豆東岸定置網主要魚種の漁況を神奈川県水産技術センターと協議して予測しました（右表）。

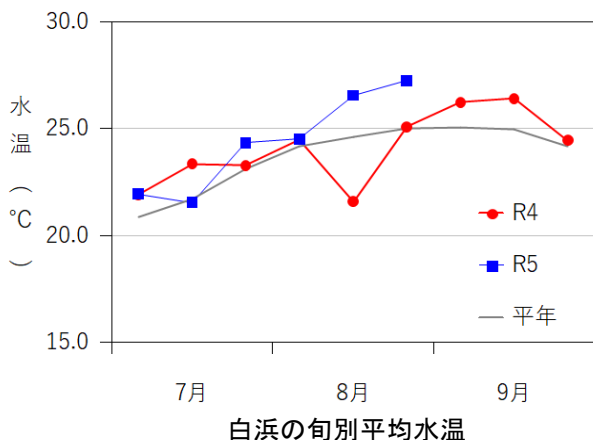
黒潮は大蛇行流路が継続する見通しで、解消の兆候はみられません。そのため沿岸水温は「平年並み」～「高め」で推移し、暖水が波及した場合には「極めて高め」となることがあると予測しました。

また、主要魚種の来遊量ですが、マアジについては、上半期に銘柄じんだの漁獲が好調だったため、前年を大きく上回ると予測しました。またブリについても前年を大きく上回ると予測しましたが、7月の銘柄わかし・いなだの漁獲が少なく、今後の状況によって、予測を下回る可能性があります。

海況	黒潮は大蛇行が継続し、A型基調で推移する。沿岸水温は「平年並み」から「高め」で推移し、暖水波及時に「極めて高め」となることがある。
マアジ	来遊量は前年を大きく上回る。魚体は尾叉長15～20cm及び20cm以上。
マサバ	来遊量はゴマサバに混じる程度。魚体は尾叉長30cm前後。
ゴマサバ	来遊量は前年を下回る。魚体は尾叉長25～30cm及び30cm以上。
マイワシ	来遊量は低調である近年並。魚体は被鱗体長10～15cm。
カタクチイワシ	来遊量は低調である前年並。魚体は被鱗体長7～9cm主体。
ブリ	来遊量は前年を大きく上回る。わかし・いなだ銘柄主体。
スルメイカ	来遊量は低調な前年並み。

8月の海水温が過去最高を記録

伊豆分場では、昭和32年（1958年）10月から白浜沿岸の水温観測を行っていますが、今年の8月中旬の平均水温が26.6℃、下旬の平均水温が27.2℃となり、この時期としては過去最高を記録しています。例年水温が一番高いのは9月のため、今後更に水温が上がる可能性もあります。今後、磯根資源や漁獲にどのような影響が出てくるのか、注意して見ていきたいと思えます。



県民の日イベントを開催

8月10日、県民の日特別企画を開催しました。今年は水産体験教室としてチリモン探しと飼育魚への給餌体験を企画し、事前予約の親子5組21名の参加があったほか、当日参加自由のタッチプールと展示室の夜間公開には、それぞれ約30名が御来場いただきました。

新型コロナウイルスの影響によるイベント開催制限もなくなり、事前申込不要の企画も実施できるようになりました。来年度はより洗練されたイベントにしていきたいと思えます。



タッチプールで遊ぶ子どもたち

9月の予定 ●漁業士と県農林水産担当部長との意見交換会（4日） ●イセエビ予測検討・発表（下田、南伊豆） ●関東東海ブロック漁業士研修会（8日 焼津市） ●黒潮大蛇行と磯焼け講演（13日 南伊豆） ●イカ類資源評価協議会（29日） ●イセエビ測定 ●キンメダイ人工授精試験 ●潜水調査（稲取 アントクメ調査、下田 磯根漁業指導）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。